

2021. 9. 13

全校朝会講話

「自分のために、そして誰かのために学んでいこう！」

今朝は、一つの映画を紹介します。

「ぼくたちは世界を変えることができない」 2011年：向井理主演、松坂桃李出演
甲太は、医大生です。医者を目指して勉強しながら、アルバイトにサークル活動と絵にかいたような大学生活を送ります。しかし、甲太はその生活に物足りなさを感じていました。そんなときに、偶然目に留まったのが「カンボジアの子どもたちのために学校を作ろう」というパンフレットでした。150万円あれば実現するというのです。甲太は、興味本位で友人に声をかけ、実行に移します。そして、どんな所に学校が立つのか見ておきたいと、観光気分でカンボジアに向かいました。そこで、今でも残る内戦の傷跡、貧富の差など、カンボジアの厳しい現実を目の当たりにして自分たちの甘さに気付かされます。

葉田甲太さんの同名ノンフィクション書籍が原作の実話です。

葉田さんご自身が医大出身で、卒業後総合診療医となり、さらに「NPO 法人 あおぞら」を立ち上げて、現在カンボジア、タンザニア、ラオスで医療支援を行っています。

プロジェクトをやり遂げ、小学校を立ち上げた8年後を描いた「僕たちはヒーローになれなかった」の中では、学校だけでなく、病院までも創っていきます。一つの成果に満足することなく、誰かのために寝る間も惜しんで頑張る葉田さんは、こんな言葉を言っています。

「きっと、ぼくたちは弱いからこそ行動する」

そして、この本の中では、「What are you working for?」あなたは、何のために働いているの?と、作者は問いかけます。

「人と比べる幸せはやめたんよ」

「人を幸せにすることは難しいけれど、人の不幸は減らせるかもしれない」
僕は世界を変えられないかもしれないけれど、みんなでなら変えられるかもしれない。

私達は、何のために学ぶのでしょうか？

それは、もちろん自分自身を幸せにするために学ぶのです。そして、それが世界の誰かの笑顔につながっていくことを信じて学んでいって欲しいと思います。